



# 優良A型事業所認定事業 発表

優良認定事業所認定員会委員長

**村木 太郎さん**

大正大学地域構想研究所教授  
(NPO)ストローク会理事長

# 今回は15事業所を優良認定

1. ビーアンビシャス(千葉県) 社会福祉法人まごころ
2. 栗源共働支援センター(千葉県) 社会福祉法人福祉楽団
3. オリーブ轟(千葉県) 社会福祉法人オリーブの樹
4. ダイア磯子(神奈川県) 社会福祉法人同愛会
5. 福祉事業所春の日(滋賀県) NPO法人マイライフ
6. フォーライフshiki(京都府) NPO法人フォーライフ
7. アップル(兵庫県) 株式会社ジルベルト

8. ジョブース ガーベラ(広島県) NPO法人ポラーノ
9. SORA(高知県) 社会福祉法人高知知的障害者育成会
10. ブルースカイ(長崎県) 社会福祉法人南高愛隣会
11. 味彩花(長崎県) 社会福祉法人南高愛隣会
12. コロニーエンタープライズ(長崎県) 社会福祉法人南高愛隣会
13. 瑞宝太鼓(長崎県) 社会福祉法人南高愛隣会
14. クックサポートしのび(鹿児島県) 株式会社エルアクト
15. キッチン紫之尾(鹿児島県) 一般社団愛絆

# 認定の経緯

- 新認定基準の公開、募集 2021年12月
  - 応募締め切り 2022年3月末(17事業所が応募)
  - 書類審査 4月
  - 実地調査 5月
  - 認定委員会 6月
  - 優良事業所認定公表 6月(全Aネット総会)
- 

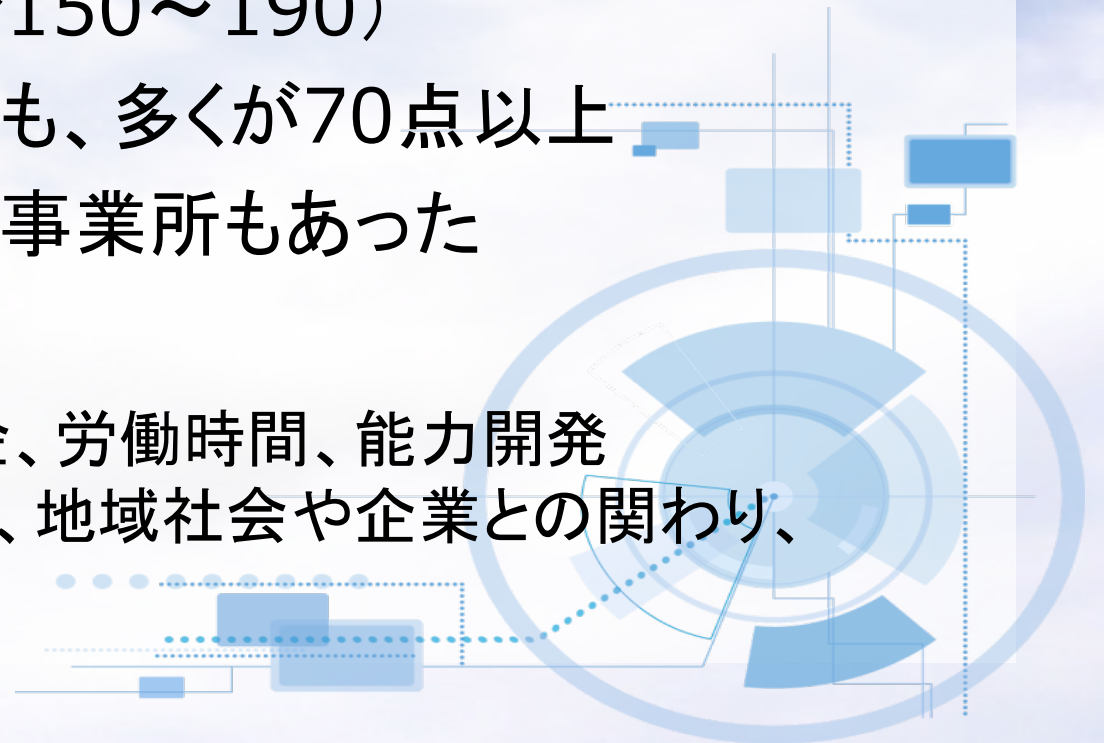
# 書類審査

認定基準に基づき審査したところ、

- ほとんどの事業所で評点（基本的要件＋他の基準、170点満点）が120点以上と高得点（厚労省スコアで150～190）
- うち基本的要件（90点満点）についても、多くが70点以上  
ただ、就労事業収支等で問題のある事業所もあった

\* 基本的要件 就労事業収支、利用者賃金、労働時間、能力開発

\* 他の基準 事業運営の重点、労働環境、地域社会や企業との関わり、  
情報開示等



# 実地調査

コロナ禍を考慮して以下の3方法により実地調査を行った

- 1.書類審査評点が高く、委員の評価も高い事業所  
担当委員がメール、電話等により確認
- 2.書類審査評点がやや高く、ヒアリングによる確認が必要な事業所  
オンラインによるヒアリング
- 3.書類審査評点が高くない、実地による確認が必要な事業所  
担当委員が事業所を訪問してヒアリング



# 認定委員会の審査

認定委員会において、書類審査及び実地調査に基づく審査を行ったところ、

応募17事業所のうち15事業所については、  
所定の条件をクリアしており、優良A型事業所と認定した。

2事業所は、事業の理念は優れており、生産活動や利用者の待遇等についてもさまざまな工夫、努力の積み重ねが認められるものの、  
優良A型事業所の基本的要件とした

- ・事業の収支バランス（事業収入で利用者の賃金をまかなっているか）
- ・賃金（平均以上の水準にあるか）

について、問題点が残されていることから、今回は認定しないこととした。

# 審查講評





# 今後の活動

- 2022年度第2次認定 秋頃に認定の予定
- 2023年度認定に向けた基準の見直し

